

平成27年度第1回稲沢市総合教育会議 会議録

1. 日 時 平成27年8月5日(水) 午後2時～3時

2. 場 所 稲沢市役所 議員総会室

3. 出席者

市 長 大野 紀明

教 育 委 員 藤田美知子 青 井 博

中 嶋 克 佳 野 村 春 子

教 育 長 恒 川 武 久

教 育 部 長 遠 藤 秀 樹 部次長兼庶務課長 岩 田 勝 宏

学校教育課長兼指導主事 武 田 孝 薫

庶 務 課 主 幹 長 谷 川 隆 庶 務 課 後 藤 誠 治

4. 傍聴人の数 5人

5. 協議・調整事項

1. 総合教育会議について

2. 大綱について

6. その他

7. 次回開催予定日時

－ 開 会 －

● 教育部長

それでは、第1回総合教育会議を開会します。最初に市長よりあいさつをお願いします。

(市長あいさつの後)

● 教育部長

次に教育委員さん、事務局の自己紹介をお願いします。

(教育委員・事務局自己紹介)

●教育部長

それでは、2. 協議・調整事項に入ります。「1. 総合教育会議について」、事務局より説明いたします。

(庶務課長から別添の「稲沢市総合教育会議設置要綱」について説明)

●教育部長

ただいま事務局から説明がありました。御意見・御質問はございませんか。

○委員

総合教育会議を設置する目的というのは、市長部局と教育委員会が情報共有しながら連携してこれからの教育問題等を検討していくということで、こういった組織ができたことでこれまで以上の成果が挙げられるのではないかと感じます。

○委員

教育委員会の施策だけでカバーしきれない部分がたくさんあると思います。要綱にもありました「課題及び目指す姿等を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していく」ということは、これからの大きな前進の一歩になると思います。

●教育部長

他にご意見がなければ、この会議をもちましてこの要綱についてご承認を賜りたく思います。ご承認いただけます場合、挙手をお願いします。

(全委員挙手)

●教育部長

要綱の付則の施行日は本日付とさせていただきます。それではお認めいただきました要綱に基づき、以降の取り回しを議長であります市長にお願いします。

◎市長

次に「2. 大綱について」、事務局より説明をお願いします。

(庶務課長から別添資料に基づき説明)

◎市長

ただいま事務局から説明がありました。御意見・御質問はございませんか。

○委員

総合計画の「青少年健全育成」の「3. 目標値」の平成24年度の34%という数値は、目標値なのですか、24年度の実際の値なのですか。

●庶務課長

平成20年度に作成されていますので、24年度と29年度は目標値です。

◎市長

24年度の現況の数値を調べて、また後ほど各委員さん方にお示しさせていただきたいと思います。

(この委員の質問について、会議の途中で庶務課長より「5年ごとに推進計画で見直しをし、例えば学校教育の市内の不登校の児童生徒数は、平成24年度の目標値は140人となっているが、実際は平成23年度で160人、市民満足度は平成24年度の目標値・実績値ともに50%であった」という発言あり。)

●教育長

目標値については、今後の推進計画等で見直しがされると思います。今回の大綱については、達成目標という大枠と具体的な方策についてこの形で良いだろうと認めていただき、今後、大綱そのものについての骨格はこのようにさせていただいて、具体的には詰めさせていただく形でどうかと思いますがいかがでしょうか。

◎市長

教育長の意見のとおり、大枠で作っていくのが大綱なので、総合計画の達成目標についてはこの表現でいかがということですね。それでよろしいでしょうか。

○委員

学校教育に関してですが、クラブ活動が減少している現状があり、指導者の養成やクラブ活動の復活を求める母親たちの声があると思います。今後、会議の中で、子どもたちの健康や、教育・運動・体力づくりの部分についても後押しできるような内容を検討できたらいいなと思います。

また、ホームフレンド事業を推進しているということですが、その現状を教えてください。

●学校教育課長

不登校児童生徒への対応ということで、年齢の近い大学生をホームフレンドとして採用し、希望される家庭に週1・2回派遣し、ふれあいながら外に向かって活動ができるように、学校に気持ちに向くようにというかたちで実施しています。平成26年度のホームフレンドは5名おり、およそ5軒の家庭から派遣の要望がありました。平成27年度は1学期の時点で4名ホームフレンドを採用し、希望するご家庭に行っていただいています。勉強をみたり話し相手になったりして、少しでも不登校が解消に向かうように力をいただいております。

◎市長

今、総合計画の中味の話になっていますが、この話はこれから総合教育会議

の中でどのように協議していったらいいでしょうか。私は、大綱を決めて、大綱に沿って、学校教育からスポーツまで、会議で協議してまとめていけるといいかなと思います。

大綱については、そのように認めていただいて、それ以外の部分は、今委員がおっしゃっているような教育に対する思い、人を育てる思いについて「3. その他」でフリートキングのような形で話していただくということによろしいですか。

(全委員異議なしの声)

それでは大綱について、総合計画の4の中の「学校教育」から「スポーツ」までの5項目の達成目標を大綱とさせていただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(全委員異議なしの声)

ご異議なしと認めていただきましたので、大綱についてはそのように達成目標をまとめていきたいと思えます。

それでは、「3. その他」に入りますが、教育とは何かというと、私は人を育てることだと思っています。各委員さんからも、教育について日頃思っていることをお話いただければありがたいと思えます。

○委員

小学生が卓球教室で楽しく活動していても、中学校に卓球部がないので違う部活動を選択しなければいけないということを知りました。卓球協会の中にも、中学校に行き個人的に指導している方も何人かいます。社会人が学校現場に入ることはいろいろ問題があるということも聞いていますが、スポーツ団体と学校の部活動が上手く連携出来たらいいと思えます。

○委員

教育振興基本計画の4番目にある、絆づくり・コミュニティの形成ですが、保護者の皆さんは一生懸命子育てをしていると言われます。しかし、子どもがしている全てのことに対しての責任を親が全部とりますかということ、意外とそうでもなく、責任を学校に求めている親が結構います。それでも、学校も家庭も地域も一緒になって、子どもの健全育成を進めていかなければいけないと思っております。それが自分の子だけではなく他人の子、地域の子も含めてどうやって見ていくかということが大事だと思えます。

私が子どもの頃、小学校に行っていた時は、地域でそれが機能していました。お年寄りの方等、誰かが子どもたちの言動を見ていたということが私の記憶にはあります。最近、それに代わりスクールガードのボランティアの方々がそう

いう役割を担っていますが、自分の住んでいる地域の子どもだけでなくもっと広範囲を見てしまいます。保護者、親同士のつながりと学校の状況、地域の見守る形というのが見えるといいのかなと思っています。親・学校・地域の3者のコーディネートをしてくれる人がいるわけではないので、地域も含めて親を教育に巻き込んでいければ、コミュニティの一体化が図れるのではないかなと思いました。

○委員

キャリア教育に係わることです。現在、主に中学2年生がコンビニや介護施設等で職場体験をしています。できたらそれぞれの発育段階に応じて小学校段階から、何かしらで働く人と同じ場で何か感じるものを得てもらうとよいと思います。夏季休業中は受入先も手いっぱいですので、どこか時期を変えて、そのような機会ができればと思います。

○委員

成績が悪いためにいじめられて不登校になった子がいましたが、0点を取ったとしても放置せず後から勉強すれば恥ずかしいことはありません。また、大人になったときに字が読めなかったり計算できなかったりするとだまされるよ、だまされないように自分で教育を受けなくては大人になれないよと言ったら学校に行くようになったとある子の父親から聞きました。どういう大人になりたいのか、どういう人間になりたいのかという希望を持たせる教育や環境が必要だと思います。

●教育長

子どもたちのより良い成長のために、教師や大人が何をしなければならないのかという視点で、このように教育施策を教育委員さんと市長さんと議論できる、同じ方向を向いて推進していけるという意味で総合教育会議はすごく重要だと思います。特に、人間形成を考えていくと、教育行政としては学校教育、社会教育、社会体育等ありますが、それぞれの立場で施策を打ち、心豊かでたくましい人作りを推進しています。その土台となるのは小中学校の9年間だと考えており、継続性、発展性のあるものとして機能させていくときに、教育現場を支える中で、家庭・地域を取り込んで実施することが重要だと思います。例えば、発達障害の子が多くて困っているときに特別支援教育支援員を配置したり、養護教諭が行事で出掛けて人がいなくなってしまうときに代替養護教諭を配置したりしていただいているのですが、これからも市長さんと教育委員さんとの議論の中で、一つ一つ、より良い教育、子どもの成長が図れるような教育推進をしたいと強く思っています。

◎市長

いろいろ教育委員さんからご発言いただきました。人間形成に関しては、学校にいるときには青少年の健全育成というのがありますが、大人になったときには大人の行動をきちっとしないといけないと思います。子どもの頃に甘やかされると、大人になっても甘えてしまう、それは一般社会の中では、甘えは許されず自分の努力でやっていかなければいけないのではないかと思います。

私は、スポーツ少年団のコーチを20年ちょっとしてきましたが、親の身勝手がありすぎると思います。団員が5・6年生になると親が役員をしなければならぬため、子どもが続けたくても親がやめてしまう、それはまずいだろうと思います。子育てというものは、自らも育てるし他人にも育ててもらうことが重要なことであるということをもみんなが互いに理解をすることが大事だと思います。親の都合でスポーツ少年団をやめてしまうことによって、子どもが横道に逸れてしまうと大変だと思います。

もう一つ聞いた話ですが、スクールガードの方が悪さをした子どもに注意したら、その子が「親が他人の言うことは聞くなと言ったので親の言うことしか聞かない」と言ったとのこと。それではやはりまともな子はできない、指導も何もあったものではないので、親を指導しないといけない。それがエスカレートし、自分の子が全部正しいとなると、学校の先生のところへ怒鳴りにいったりすることになる。親として反省するべきところは反省してもらわないといけないと思います。

ハワイでは、子どもの悪いところを他人が叱っても親は反論せず受け入れて黙っていると聞きました。そこは日本も学んでいくと良いのかなと思います。やはり子育ては学校・家庭・地域の三者できちっとやらないと子どもは真っ直ぐ育っていかないと、思います。その三者が共通の認識で子育てをしていかななくてはならないだろうし、保育園・幼稚園の子、小学生といった年代ごとでも子どもたちを見ていかなければならないと思います。

今日の会議の終了時間もあるかと思いますが、これは永遠のテーマなので一日では終わらないですね。

○委員

昔はテレビやお風呂が各家庭になかったので、銭湯や親戚の家にもらい湯に行ったり、テレビをみんなで集まって見たりしました。その中で、おじいちゃんやおばあちゃん、よそのおじさん、おばさんにいろんなことを注意されたり教えられたりしたような気がします。今、核家族の時代になり、価値観やライフスタイルが多様化しており、いろいろな考え方があるので、市長がおっしゃ

ったように教育は大変難しい問題だと思います。

私が経験した、大人がお手本を見せなきゃいけないと感じたことは、横断歩道を赤信号で渡ってしまったときに、後ろからお巡りさんが見ていて「信号は守りましょう」と声を掛けられたことで、それをきっかけに、今は車が来ていなくても誰が見ているか分からないので渡ってはいけないと感じています。他の人が渡っていても自分は渡らないという強い意志を持っていかないと、身近なところでは近所の子どもたちが見ていますので、大人がお手本を見せていかないといけないと感じました。

また、今の若い世代のお母さんお父さんは、いつも携帯電話を見てネットで情報交換をしており、それを見ている子どもは必然的にそれが普通だと思ってしまうので、大人に対してもいいお手本となるような教育、講習会のようなのが必要なのかなと感じました。

◎市長

教育長から発達障害、支援員の話がありました。これからは普通学級で障害のある子が授業を受けることが増えていくと思います。障害を持った子の親は一緒にやってくれと言うし、そうでない子の親は困ると言う、それをどうやって一つの教室で授業を行っていくかを考えると、教育委員会は非常に大変だと思います。現場の課題についてどうするかというのは、行政も教育委員会も同じ話なので、困っていることについてはフォローをし、問題解決に向けた措置をしていかなければいけないと思います。

授業参観も、保護者の方に一日教室にいてもらおうとどういったことが行われているかが分かるかと思います。将来の稲沢を支えてくれる宝である子どもをきちんと育てていかなければいけないと思いますが、あまり痒いところに手が届き過ぎると大人になったときに反動が来るので、我慢すべきところは我慢をさせないといけない。いずれにしてもこの議論は総合教育会議だけでなく、いろいろな場で、私も時間があれば教育委員会定例会に出向いて話がしたいと思っています。何が起きているのかをみんなで話し合うという日頃の情報共有が大事だと思います。私は、いじめは一番身近な通学団から始まる、その時に芽を摘んでやれば収まる、それをほかっておくのでエスカレートしてしまうのだと思います。いじめは双方に非がある場合もあるので、お互いに認め合っていくというのが親の考え方の広さかなと思います。教育というのは何かというと、学校の先生が教える、親や地域が育てるものだと思います。全てを学校に任せるのではなく、勉強を教えるのは知識をお持ちの先生、しつけや一般常識は親や地域が教え、人を育てていけたらと思います。まとめとしては、子ども

を、人間を育てるのは難しいと、そんなことを思います。

続きまして、4. 次回開催予定日時について、事務局より説明をお願いします。

○教育部長

平成28年1月を予定しております。詳細な日時・場所が決まりましたらご連絡差し上げます。

◎市長

委員の皆さんよろしく申し上げます。これを持ちまして、第1回総合教育会議を終わります。お疲れ様でございました。

－ 閉 会 －